

## 7月 白鳥の拝殿踊り発祥祭 白鳥おどり発祥祭

司会進行係や「おどり応援隊」として参加



11月 岐阜県市町村教育委員会  
連合会研究総会  
白鳥の拝殿踊りを披露



1・2月 踊りを楽しむ会  
生徒会を中心に、「演奏し隊」の  
演奏に合わせて皆で楽しく

## 目次

政策提言に対する回答	2	一般質問〈郡上の課題を問う〉	11
市長への政策提言	4	クイズの答え・皆さんからの声	17
新年度予算 Q&A	6	傍聴者アンケートの集計結果	18
1月臨時会・3月定例会	8	2年間の活動を終えて	19
議会改革特別委員会 最終報告	9	クイズコーナー・編集後記	20

# 政策提言に対する回答

本市議会に設置されている3つの常任委員会（委員任期2年）は、それぞれの委員会ごとに決めた活動テーマのもと、下記の流れに沿って活動し、令和7年10月27日に市長へ政策提言※を行いました。（内容は議会だより第87号に掲載）

ここでは、その政策提言に対する市長の回答をご紹介します。

※議会が主体となって市政の各分野における課題を解決するために、具体的な政策を市長などに提出すること。

## 議会・各委員会の活動

- ①各種団体等との意見交換会や現地視察
- ②先進地への行政視察
- ③議員が市民の皆さんの声を聞く「議員としゃべろう」の開催

上記の活動を経て各常任委員で議論を重ねて地域の課題を集約し、議会としての提言案をまとめる

## 政策提言を提出

### 各常任委員会の主な担当部局

#### 【総務常任委員会】

市長公室、総務部、市民生活部、消防本部ならびに他の常任委員会に属さない事項

#### 【産業建設常任委員会】

産業観光部、建設水道部

#### 【文教民生常任委員会】

健康福祉部、病院、教育委員会

※令和8年4月より新しい組織機構となりました。



議会だより第87号  
(政策提言の内容はP2-3)

## ▼総務常任委員会

### ふるさと寄附増収の取組み

令和8年度のふるさと寄附は、目標額を5億円に設定する。

現在1183種類の返礼品があるが、人気ジャンルの米や肉、観光に着目した体験型の返礼品などの開発に努め、市場トレンドに基づく果物などの先行予約やリピーター獲得に向けたキャンペーンに取組む。

### 地域公共交通について

路線バス及び自主運行バスの効率化と利便性の向上に向けて各地域の実情に応じた取組みを行う。

利用の非常に少ない路線においては、廃止や減便を行うとともに、スクールバスとの一体的運行などの再編を行う。

また、車両の小型化やデマンド運行など引き続き地域と協議しながら取組む。

### 関係人口の創出について

国が進めている「ふるさと住民登録制度」のモデル事業に応募しており、アプリを活用した「郡上ファン」を市内に呼び込む仕組みづくりに取り組む。

現在、LINEを活用した「I R O I R O 郡上」による情報発信を行っているが、首都圏のシティープロモーション事業者と連携して若者向けSNS発信などの一層の強化を図る。



東京都上人会交流会で郡上ファン獲得に向けたPRを展開

## ▼産業建設常任委員会

### 次世代へつなぐ

### 農村地域社会の構築

「地域計画更新会議」にて意見を聴取し、地域の実情に合った内容で、皆様に賛同いただける計画へとブラッシュアップする。

また、農村型地域運営組織（農村RMO）の迅速・確実な推進には令和8年度の新規モデル事業として、地域運営組織の設立を条件に、遊休農地・耕作放棄地等の農地保全に向けての支援を行う。組織の立ち上げについても、県と連携し、職員の知識向上を行う支援する。

### 空き店舗の活用

空き店舗の活用については、関係機関と連携を取り、利活用と発生抑制に努め、関係機関の支援員や指導員と協力して一体的な支援体制の構築と現状把握・課題整理などを進めたい。

## 計画的な社会資本整備の推進と財源確保について

広大な面積を有する本市の道路ネットワークなどインフラ整備は欠かせないもので、これらの安全性向上や円滑化の改良など限られた財源の中で計画的に実施していく。

財源確保については許容範囲での事業債を有効に活用していく。



過疎債を活用して道路改良が推進される市道方須・乙原線（和良町）

## ▼文教民生常任委員会

### 歴史文化の保存活用と

### 伝統芸能の継承

文化財継承の一例として、若宮家住宅保存活用への調査や、郡上八幡城の石垣の適切保存にかかわる協議・調査を行う。

「シン・郡上学」では、小中学校対象に歴史文化の学びや、体験の授業を実施する。白山古道（美濃禅道）については、復元整備にむけて有識者会議の開催や現地調査をし、都市間交流・インバウンド促進に繋げたい。



郡上八幡城の石垣等、適切な保存管理に取組む

## 障がい者施設の制度化と推進

令和8年度には障がい者差別解消法の周知徹底に取組む。また、民間業者における、コミュニケーションボード設置や、段差解消のバリアフリー化に対する支援を検討していく。新たな取組みで市のHPの専用ボタンをクリックすれば、リアルタイムに手話で問い合わせができる「手話リンク」への登録を行う。



思いやりマーク

### 学校施設のエアコン設備の充実

多額の導入費用と運転費用が必要になるため、国の制度の活用と使用料徴収の考察、また他市の事例調査を行う。空調設備の効率的な運用のため、太陽光発電の活用による省エネ技術の導入を検討する。

# 政策提言 (第2弾)



今年度は10月27日に市長に対し政策提言を行いました。3月24日には、第2弾として下記4項目を追加して提言を行いました。

以下、政策提言の要約です。

詳しくは郡上市議会公式HPへ →



## 1 消防力の強化

(1) 本市は広大な地形と人口減少に伴う消防団員不足、老朽化した消防署施設といった課題を抱えている。特に、気候変動による災害増加や中部縦貫自動車道の全線開通に備え、多様な人材確保が喫緊の課題である。女性消防吏員の増員と環境整備、経験者採用を戦略的に進め、組織の質を高め、急増する現場ニーズに対応させたい。

(2) 広大な地域を南北に区分し、それぞれの地理的特性に合わせた拠点配置を行う。救急・救助資機材の整備、指揮隊の配置によって複雑な現場対応を強化。高速道路での対応に伴う初動遅れを解消するため、機動力を最大限に活用した計画を構築されたい。

(3) 消防団員の減少は、昼間帯の出勤能力低下を招いている。郡上市消防団組織再編基本計画に基づき、1分団1部体制への集約化を加速。機能別消防団の導入で実効性ある地域防衛を確立し、全庁的な危機管理体制を再構築。財源確

保や消防職員処遇改善も合わせて実施されたい。

## 2 高品質、高付加価値米の生産体制の強化

(1) 高温耐性水稻品種の選定を県、JAと進め、市内でも特に温暖化の影響が見られる南部地域から導入し推進されたい。

(2) 関係者との協議の場を設け、流通や価格の実態の把握に努め、導入する高温耐性水稻品種の選定、販売のための参考とすること。さらに、その結果を踏まえ、より高価格での販売を目的とした販売ネットワークなどの仕組みづくりを進め、生産者、流通事業者や販売店との連携によるプロモーションなどを行うことで、市内外での郡上市産高温耐性品種米の安定的な販路確保に取組まれたい。

## 3 障がい児の放課後等支援体制の充実

(1) 放課後等、デイサービス、日中一時支援、放課後児童クラブなどの利用状況や受入れ体制について、利用希望に対する受入れ状況や待機の実

態、学校の長期休業期間における支援需要などについて調査・分析を行うこと。その上で医療・福祉・教育の関係機関による協議の場を設け、障がいのある児童やその家族の意見もふまえながら、障がい児支援の役割分担や連携のあり方を整理し、支援の受け皿確保に向けた具体的な方策の検討を進めること。

(2) 放課後児童クラブにおいて、個別の支援が必要な障がいのある児童などの受入れ体制の充実を図るため、加配職員の充実を図るなどの支援策のあり方について検討を進めること。

## 4 「郡上市文化財保存活用地域計画」の推進について

(1) 「郡上市文化財保存活用地域計画」の計画期間である5年間を重点期間として、計画的、総合的に施策展開できるよう、早々に年度別実施内容やKPI（重要業績評価指標）、財源などを明らかにして具体的にスタートされたい。

# 令和8年度 予算 一般会計292億4,400万円

予算特別委員会での審査の結果、全会一致で可決しました

議会日より編集委員が選ぶ!

## 今年の注目事業はこれだ 〇〇

### 災害対策事業 (全体) 5,150万円



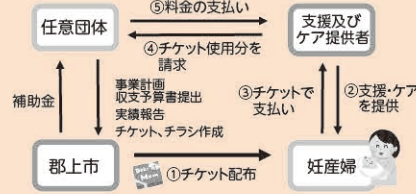
移動設置型トイレイメージ

災害発生時に、市との協定により避難所などで使用可能な移動設置型トイレを購入配備する事業者に、費用の一部を補助。

**Q** 移動設置型トイレの活用方法は。

**A** 平時は一般事業者が所有し、有事の際には48時間以内に行政に貸し出すことを条件としている。

### 妊産婦ヘルスケア事業 171.3万円



妊産婦が心身の健康を保ち安心して出産・子育てができるよう、1人1万円分のチケットを配布。

**Q** 既存の妊産婦関連サービスとの違いは。

**A** タウンミーティング提案事項で、住民自ら立ち上げた団体が主体的に実施する事業へ補助金を交付する事業。

### 森林空間施設整備事業 176.8万円



床並社跡 (白鳥町前谷)

観光振興や地域経済の活性化につながる目的で白山古道 (美濃禅定道) の復元整備のための調査。

**Q** 整備して何年計画で行われるものなのか。

**A** 実際に復元するとなると濃飛横断道の開通に合わせる形で10年を想定している。

### 農山村再活性化事業 440万円



郡上市の田園風景

急傾斜地など山際の条件不利な農地及びこれに隣接する里山との一体的な保全活用を、農村型地域運営組織の設立と活動を支援。

**Q** 県のアグリパーク構想と連動しているか。

**A** 地域おこし協力隊や若者移住者に新たな組織の事務等を担っていただきたい。

### 広報媒体等整備事業 990.5万円



市公式 LINE (イメージ図)

市公式HPを8年振りに刷新、併せて公式LINEを構築し、行政情報媒体の集約化及び発信力の強化を図り利便性の向上を目指す。

**Q** どのような運用体制にするのか。

**A** システム運用、管理については業者、記事の作成については職員が行う。

### 新世代住まい応援事業 4,200万円



補助金を活用して建てられた住宅

若者の移住・定住を促進するため、市産材を使用した木造住宅の建築に加え、既存住宅の増改築にも補助制度を拡充。

**Q** 学校跡地の活用方法については。

**A** 閉校した学校跡地の活用を住宅地として活用できるか調査・検討を進める。



広報郡上4月号

当初予算についての  
詳細はこちら



# でのQ&A

## 総務

**Q** ふるさと寄附の返礼品数が他市に比べ、少ないと思われるが、今後はどうするか

**A** 需要が見込める飛騨牛なども含め、返礼品として品数を増やしていきたい。また、観光客が現地決済できるようにもしていきたい。

**Q** 地域振興イベント事業助成経費はどのように選んだのか

**A** 郡上市の特色があり、観光客が呼び込めるイベントという位置づけで選んでいる。

**Q** 旧大垣共立銀行跡地の調査は具体的にどう進めるのか

**A** 専門家によるサウンディング調査の結果を踏まえ、市民の方々に今後の方向性について意見を伺う。

**Q** 婚姻届などの夜間受付は令和8年度から消防署で行うのか

**A** 令和8年度において夜間は市役所の窓口が無人となる予定のため、消防署窓口に届けていただくことになる。事前の予約は不要である。

## 産業建設

**Q** クリーンセンターの中継施設整備から広域処理開始までの総事業費は

**A** 総額約10億円程度の見込み。

**Q** 畜産診療費事業の大幅な減少理由は

**A** 家畜診療医の退職と和牛農家の廃業が挙げられる。新たに獣医師を雇用していきたい。

**Q** メガマルシェ「ミチトキテン」は本来の目的からずれていないか

**A** 高速道路の結節点として白鳥町がある。ここで、いかに人が降りて集まれるかをミチトキテンを通じ発信したい。

**Q** 市内に歴史の道がたくさんある中で、白山古道（美濃禅定道）を最初の対象とした理由は

**A** 西廻りの中部縦貫道が結節する2年半の間にめどをつけ、濃飛横断自動車道の開通に合わせた夢として叶えたい。

**Q** 集落支援員は何名いるのか

**A** 全員で40人、事業費にして、約2億2千万円程度の見込み。特別交付税の対象になる予定。

## 文教民生

**Q** 高齢者の買い物支援は、どのように見守りにつながっているのか

**A** 定期利用の中で変化に気づき、異変時は関係機関へつなぐ仕組みとしている。

**Q** シニアクラブの活動は地域のつながりづくりはどう活かされているのか

**A** 補助制度を見直し、地域活動に応じた支援へ転換する。身近な活動を後押しする仕組みとなる。

**Q** 「こども誰でも通園制度」は実施できる体制が整っているのか

**A** やまびこ園での実施を予定しているが、現状では人員不足があり、保育士確保を前提に実施する予定としている。

**Q** 木遊館サテライトの運営体制は

**A** 会計年度任用職員を配置し運営していく予定であり、木や山に関心を持っていただけるようなイベントや企画を検討していく。

**Q** 北海道下川町との交流事業はどのような目的で実施するのか

**A** 市内の中学生が、現地の小中学生や住民の方たちと新たな絆を育むことを目的に実施していく。

どんなことを話したの？

# 予算特別委員会

## 新年度予算 (特別・企業会計) 審査 Q & A

特別会計 9 件、企業会計 3 件 (全会一致可決)

**特別会計**  
**123億 479万円**

**企業会計**  
**122億3152万円**

### 国民健康保険特別会計

**Q** 現在の国保被保険者一人当たりの医療費や、重症化予防など医療費削減の取り組みは

**A** 令和7年度のひと月の一人当たりの医療費の平均は3万4596円である。前年度から人数と金額は減っているが、単価が上昇して保険給付費は上がっている。令和6年度の健康診断の法定基準は58.5%と県下4番目で、全国の市の中で7位と高い。医療費削減のために、健診受診率の目標を65%にしている。

### 介護サービス事業特別会計

**Q** 借入金の収益が下がっているが、移転後、運営方針を見直すなど考えているのか

**A** 定員数を減らすので収入は減る。現状の介護報酬を参考に算出しているが、今後の改訂で大きく変わるの難しいことから一般財源からの繰入金に頼らざるを得ない。  
安全な場所への施設移転を第一目標とし、移転後の運営について検討していきたい。

### 水道事業会計

**Q** 水道事業の給水収益に対し、補助金総額は43%である。一般財源からの補助金の基準外の増加は市民の負担となる。基準内・基準外の金額は

**A** 基準内の額約2100万円、基準外の額約2億9100万円である。また、企業債償還の元金に係る部分として別途約2億2500万円、その内訳として基準内約1億7900万円、基準外約4600万円であり、ルールに基づいて一般会計から繰入している。

### 下水道事業会計

**Q** 総収益の内、一般会計からの繰入金が約48%を占めている。事業の根本的な問題はどこにあるか

**A** 農業集落排水と言われる集合浄化槽は採算面で難しいことから現在は統合して19か所ある。下水道は水道使用量で徴収しているが、下水以外の水が含まれる可能性もあることから、下水道料金など、今後の経営戦略で調査研究していく。

### 病院事業会計

**Q** 郡上市民病院経営改善推進事業の11億円の推進債は、どこから借入し、その用途は

**A** 借入先は現時点で決まっていないが、公営企業の機構に申し込む予定である。これは令和7年度から3年間の見込みで、経営改善や運営資金に使える特別な地方債であり、通常の運営に充当する。

**Q** 郡上市民病院事業の経営改革のコンサルティング委託料は

**A** 現時点では1600万円を予定している。

# 1月臨時会

令和7年度一般会計補正予算

1億9685万円増額  
(全会一致)

## 主なもの

### 衆議院議員選挙経費

衆議院の解散に伴う選挙執行に係る補正。  
3525万円増額

### 〈物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業関係〉

#### 給食費無償化支援事業

物価高騰による経済的負担軽減を図るための子育て支援として、保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校の令和8年2月・3月の給食費を無償とする。  
5144万円増額

#### 医療・福祉事業等物価高騰緊急支援事業

物価高騰により食材費や光熱水費などの運営経費が増大する中、サービスを維持しながら懸命に運

営を続けている医療・福祉事業者に対し、支援金を交付する。  
6360万円増額

### 高齢者生活支援事業者物価高騰緊急支援事業

物価高騰により食材費や光熱水費などの運営経費が増大する中、高齢者の生活を支えるサービスを懸命に運営している事業者に対し、支援金を交付する。

486万円増額

### 介護・福祉事業従事者支援事業

全産業平均と比較し給与が低水準となっている介護職員などを対象とし、支援金を交付することにより、物価高騰の影響を緩和するとともに、社会福祉の向上を図る。

# 3月定例会

令和7年度一般会計補正予算  
(2月9日専決)

11億3419万円増額  
(全会一致)

### 道路除雪経費

12月、1月の降雪に伴う除雪委託費等の不足に係る補正  
11億3419万円増額

令和7年度一般会計補正予算

(全会一致)  
1億255万円減額

## 主な補正予算の内容

### 長良川鉄道経営対策事業

長良川鉄道(株)の令和7年度決算見込みに係る損失補填の補正  
8302万円増額

### 現年補助災害復旧事業(公共土木施設)

事業費の確定見込みに係る補正(令和7年6月23〜24日発生豪雨災害に係るもの)  
2億1587万円減額

## 人事案件

3件 (全会一致)

### 教育委員会委員の任命

澤崎美智子(白鳥町) 任期3年

### 公平委員会委員の選任

山根麻子(高鷲町) 任期4年

### 人権擁護委員候補者の推薦

谷澤功志(八幡町) 任期3年

山内正文(大和町) //

河井康聖(白鳥町) //

和田哲哉(高鷲町) //

## 主な条例の一部改正

15件

### 郡上市副市長の定数を定める条例の一部改正

(全会一致)  
財政健全化・トップマネジメントの効率化のため副市長の定数を2人から1人に削減する。  
(令和9年4月1日施行)

### 郡上市自主運行バス設置条例の一部改正

(全会一致)  
自主運行バスの利便性の向上と効率的な運行を目指し、路線の統合、新設等を行う。

区分	路線名
統合	高鷲地域デマンドバス(鷲見線と鮎立線を統合)週3回、固定ダイヤ型で予約に応じて運行
新設	奥住線(明宝)寒水線、気良線、小川線と合わせて4路線を4台の車両で運行(スクールバスと共用)

### 郡上市国民健康保険条例の一部改正

(全会一致)  
令和8年4月からの子ども・子育て支援納付金制度開始に伴うもの。

区分	額
所得割額	基礎控除後の 総所得の0.25%
被保険者 均等割額	1人あたり 900円
18歳以上 被保険者 均等割額	1人あたり 90円

●郡上市図書館設置条例の一部改正

(賛成多数)

効率的で持続可能な図書館運営を目指し、これまでの2館5分室体制を見直すため、利用者数や貸出点数の減少を踏まえて、めいほう分室(明宝)・わら分室(和良町)を令和8年4月1日から廃止になるが、今後もホームページや電話で予約し、振興事務所受取・返却ができる。また、公民館などへの本棚の設置やブックカフェの開催など地域の特性に応じた読書機会の提供を行う。

●反対討論

野田かつひこ議員

公民館活動と一体的な運営を行うとはいえず、条例から名称を削除すると図書館の機能の担保が無くなる。また、図書館は文化の拠点であり、本の閲覧や自主学習を行う場でもある。利用者の数ではなく、それを享受す

る機会確保の公平性の観点から分室は維持すべきである。

賛成討論

有井弥生議員

これまでとは異なる形にはなるが、読書環境は様々な形で維持される。両分室とも公民館の中に図書館があり、人と人との繋がりや学びの広がりが見られることも期待される。従来の施設の形を守ることだけではなく、地域の実情に応じた環境を整えるべきである。

●郡上市議会委員会条例の一部改正

(全会一致)

令和8年4月1日からの行政組織機構改革に伴い、各常任委員会

常任委員会	主な変更
総務	・市民生活部(新設)を所管に追加
産業建設	・農林水産部 → 産業観光部 ・商工業部 → 観光部 ・産業部 → 観光部 ・建設部 → 建設部 ・環境部 → 建設部 ・建設部 → 建設部 ・水道部 → 建設部 ・水道部 → 建設部 ・水道部 → 建設部

●郡上市議会議員定数条例の一部改正

(賛成多数)

議員定数を現行の18人から15人に削減。

●反対討論

野田かつひこ議員

議員の数というのは市民の声の数と言える。定数減は市民の声が減少することや市政の監視機能低下にも繋がると言える。

みずのまり議員

議員定数の減少は、なり手不足解消どころか、むしろ拍車をかけると考える。若手や子育て世代が市政へ参画しやすい環境づくりこそが真の議会改革ではないか。

賛成討論

長岡文男議員

議員削減の目的は単なる定数調整ではなく、市民の声をより多く反映でき、迅速な意思決定が可能な議会を作ることにある。

議会をスリム化しつつ、委員会構成や環境整備、議会の見える化を進め、議員の質を高めることが真に市民に信頼される議会の第一歩になる。

有井弥生議員

立候補のしやすさは定数で決まることはない。報酬や子育てとの両立支援など総合的に取組むべき課題である。

人口減少や財政状況、市民アンケートの結果などを総合的に勘案し、

議員定数の見直しは避けて通れない課題である。

本案は単なる定数削減ではなく、議会の質を高め、市民に信頼される議会へとつなげていくための一歩である。

指定管理者の指定

1件

(全会一致)

●郡上ケーブルテレビネットワーク施設の指定管理者の指定

株式会社郡上ネット(八幡町)を指定管理者に指定

(令和8~11年度)

財産の無償貸付

1件

(全会一致)

●旧郡上市美並川の駅

修繕費用を借受人が負担するほか、本施設の運営に関して市から財政的な負担が生じないことから、無償での貸し付けとする。

貸付先 (有)

EAT&L

VE

貸付期間 契

約の日々令和18年3月31日



現在の旧郡上市美並川の駅

# 次の一般選挙（令和10年4月任期満了）から 議員定数が18人から15人に

～「郡上市議会議員定数条例の一部を改正する条例」を可決しました～

## 議会改革特別委員会

本会議最終日に「議会改革に関する調査研究」について、現在の18人を次の一般選挙から15人（3人削減）にすることなど、当委員会の取組み結果を報告した。

### ●市民意見と委員討議を踏まえ、取りまとめた方針

定数	次の一般選挙（令和10年4月任期満了）から15人
常任委員会構成	3常任委員会から2常任委員会
報酬等	市長諮問・報酬審議会答申に委ねる委員会活動の充実に向けた「委員長手当」の創設、議員の資質向上に向けた「政務活動費」の引上げ
課題の継続	若者・女性の立候補促進に向けた体制整備

これは、議会基本条例に基づき人口、面積、市政の現状及び課題、並びに将来予測と展望を考慮すると共に、市民の代表である議会が市民の多様な意思等を市政に反映させることが可能な人数となるように、2年間をかけて、各種データの分析、県下自治体事例の視察、また市民との意見交換やアンケート調査のうえに、委員間討議を重ねて

得た結論である。

調査研究にあたっては、始めから削減ありきではなく、本市を取り巻く現状から適正な定数の試算を調査し、その全体平均試算値が「14.1人」となることなどを分析した。一方で、市民アンケートでは、大多数が「定数を減らすべき」とされ、「3人減」が最多という結果であった。

### ●平均値・試算値による分析結果

①全国815市議会の議員定数 5万人未満（303市）平均値	16.5人
②県下21市議会の議員定数 5万人未満（10市）平均値	15.5人
③郡上市議会の議員定数に関する試算値 県下21市の議員1人当たり人口平均を考慮	10.9人
県下21市の市域（可住地）面積を考慮	13.0人
県下21市の令和6年度一般会計予算を考慮	14.8人
上記①～③の平均値及び試算値の平均	14.1人

※アンケート結果はNo.86号（2025.11）で掲載

市民代表との意見交換ではその声は一樣ではなく、削減の主張とは対照的に地域によっては議員が出せなくなるという心配、議員活動の充実や情報発信、また若い世代や女性の参画による議会の多様性が求められる声などを確認した。委員間討議で

は、これら内外の状況を踏まえて削減はやむなし、しかし市政の課題は山積し、しかも難題であり、広域かつ多様な市民の声を市政に届けるために必要な議員定数について「15人」とすることに意見がまとまった。



地域協議会との意見交換

代表民主制、間接民主制の中で、議会が自ら議席を削減することを不認識と指摘する意見もあるが、人口減少、かつ総需要が縮小する時代にあつて、本市の現状に見合った効率的な財政運営、すなわち行財政改革への視点や議員の資質向上に向けて議員自らが厳しく対処する姿勢が求められている。

## 濃飛横断道整備促進特別委員会

濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議では、令和6年度から岐阜県議会濃飛横断自動車道建設促進議員連盟との合同要望活動を実施しており、1月19日には国土交通省中部地方整備局（令和7年度新規）、1月22日には国土交通省、1月23日には国会議員に対する要望活動を実施しました。

中部地方整備局の大口道路調査官からは、「最大限の予算配分に向けて支援をお願いする」、上田国土交通大臣政務官からは、「要望なきところに査定はなく要望をしっかりと受け止める」、廣瀬国土交通省技監からは、「貴重な観光資源を活かせるようにリニアの効果を広げていく」、国土交通省沓掛道路局長からは、「濃飛横断道はリニアの効果を広げるために大変重要であり応援していく」等のコメントがありました。

濃飛横断自動車道の事業推進に向け、引き続き精力的に要望活動を実施してまいります。



上田国土交通大臣政務官に対する要望活動（1月22日）



詳しくは郡上市議会公式HPへ

# 一般質問

# 郡上の課題を問う



## あなたの声を市政に

一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に、質問を行い見解などを求めることです。3月定例会の一般質問に16名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※下記の表中、がある内容を掲載しています。全ての質問は次ページからの各議員欄にある二次元コードからYoutubeにてご覧いただけます。



郡上市議会の  
YouTube

## 一般質問一覧

	議員名		質問事項
1	田中 義久	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 令和8年度一般会計当初予算について
2	山田 智志	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 乳幼児の室内自由遊びの場の充実
3	北山 浩樹	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 出生数百人時代、郡上型働き方改革について
		<input checked="" type="checkbox"/>	2. 公共施設配置計画の加速と財政運営の適正化
4	蓑島 正人	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 令和8年度施政方針について
		<input type="checkbox"/>	2. 郡上市の通年型観光の振興について
5	田代 まさよ	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 循環型経済について
		<input checked="" type="checkbox"/>	2. 高齢者のひとり住まいと火災について
6	清水 敏夫	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 普通財産（廃止）を次世代に残さない策は
		<input type="checkbox"/>	2. ずっと働きたい市役所をめざすために！！
7	大坪 隆成	<input type="checkbox"/>	1. 財政運営の基本姿勢について
		<input checked="" type="checkbox"/>	2. 長良川鉄道について
8	長岡 文男	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 日本まん真ん中センターの活用について
		<input checked="" type="checkbox"/>	2. 新年度予算編成の基本的な考え方から

	議員名		質問事項
9	本田 教治	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 「自治・まちづくり」について
		<input checked="" type="checkbox"/>	2. 無痛分娩について
10	有井 弥生	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 白山古道の整備と広域観光戦略について
		<input checked="" type="checkbox"/>	2. ふるさとワーキングホリデー制度について
11	池戸 郁夫	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 公共交通について
		<input checked="" type="checkbox"/>	2. 広報媒体等整備事業について
12	和田 樹典	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 郡上市の観光振興の展望について
		<input checked="" type="checkbox"/>	2. 八幡町伝統的建築物群保存地区について
13	野田 かつひこ	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 学校給食の現状と課題を問う
14	池田 源則	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 農村RMOについて
		<input checked="" type="checkbox"/>	2. ジビエの有効活用について
15	原 喜与美	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 人口減少がもたらす地域コミュニティの対策
		<input type="checkbox"/>	2. 指定管理施設の今後のあり方
16	みずの まり	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 地域振興について

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。



田中 義久 議員

市政改革と市民理解の調和Ⅱ  
バランスの考え方は

説明を尽くし未来志向と  
市民参加の郡上をつくる



山田 智志 議員

乳幼児の室内の  
自由な遊び場の拡充は

既存の施設を活用し、気軽に  
利用できる場にする



北山 浩樹 議員

サテライトオフィス導入で移動  
コスト削減と多様な働き方は

先進事例を研究し、試行的  
導入も視野にいれながら  
検討したい



大きく膨らんだ新年度予算の特徴は何か

**乾副市長** 新世代住まい応援事業や高齢者買い物あんしんサポート事業などの拡充と美並小学校と郡上偕楽園の整備。また、特別交付税措置を受けられる集落支援員制度の活用、そして国庫補助金を活用した移動設置型トイレ補助金の新設など、幅広い世代に対して事業を盛り込むことができた。

**今後10年の財政シミュレーションは**

**副市長** 人口減少による市税や普通交付税の減収を見込み、令和15年度で約270億円規模としている。また、現在減少している財政調整基金を40億円程度まで戻すことを意識して取組んでいく。

自治会要望に予算対応できたか

**加藤総務部長** 令和7年度の要望総数は2561件。市に関する要望は1867件、特に緊急性が高い事案は7年度に294件を対応済み。令和8年度予算では220件対応。要望への対応割合は約28%となった。



議会から予算編成へ向けた政策提言の様子

**児童館とほっとサロンの利用状況は**

**田口健康福祉部長** はちまん児童館は、小中学生の利用により増加傾向。ほっとサロンの利用は、未就園児が多く、子どもの減少などにより減っている。

室内の自由な遊び場の今後の拡充は

**健康福祉部長** これまで遊び場や居場所を提供するためには、安全管理の面から子育て支援を提供する人員を配置することを条件としてきた。今後は、職員が常駐している既存の施設の空き部屋や空きスペースを活用するなど、柔軟な考え方で遊び場の設置を検討していけると思われる。

また、地域の公民館や集会場の大広間なども子育ての拠点とすることが可能で、住民が地域の課題に主体的に取組んでいただくことをお願いしたい。

これまでの考え方や基準にとらわれず、子育て支援体制のあり方全体の見直しを含め、既存の施設を有効活用しながら気軽に利用できるよう考えたい。



現在のほっとサロンみなみ

**出生数百人時代の危機に、DXで場所の制約を解消する「郡上型・分散型オフィス」の導入は**

**山川市長** 移動コスト削減や職場環境の改善、職防止、人材育成に期待が持てる。同僚職員との負担感の偏重に配慮しつつ、先進事例を研究し、試行的導入も視野に入れながら検討したい。

勤怠管理の客観的な記録も一層徹底する。

公共施設適正配置計画の実効性は

**白鳥文化ホールの解体先送りによる不作為コストを明確にし、資源価値を活用した早期解体と全庁的な優先順位リストの策定は**

**加藤総務部長** 借地料は年あたり90万円であり、解体が遅れると相応分が跳ね返る。

借地については、返還を見据え周辺施設と一体的な跡地利用が必要と考える。解体リストは必要と考えているが、さまざまな課題などもあり、現時点では進んではない。



使用されていない白鳥文化ホール



議員 正人 奥島

### 北海道下川町との 新たな交流は

市内中学生が町民との交  
流を行う



山川市長 郡上市と下川町との歴史や文化、その中で生きる人々の思いや生き方を学ぶ中で、自分の生き方とこれからの郡上の未来とを考えると、をねらいに、郡上市中学生下川町交流を行う。

下川町は「人づくり」と「仕組みづくり」で答えを出してきた。過去の歴史への敬意だけでなく、本市の未来を描くため、「生きた教科書」と言える下川町とは深く繋がっていききたい。



### 下水処理区の統廃合、区域外の合併処理浄化槽整備の推進は

遠藤環境水道部長 郡上市過疎地域持続的発展計画に記載されている処理区の中で、9つの処理区は統合済み。これ以外の処理区についても有効性が認められた場合は統合を進める。

令和8年度から浄化槽への転換について調査研究を開始する。健全経営の観点からも、今後、基本的には管路を延長することはできないので、住居などの新築を計画される際には、上下水道の整備状況の確認をお願いする。



議員 まさよ 田代

### 循環型経済として段ボールコンポストを推進できないか

生ごみ削減は施策展開に  
おいて最重要課題の一つ



山川市長 郡上クリーンセンターの老朽化に伴う可燃物の広域処理への転換を見据えると、可燃ごみの減量化は市の財政にも直結する重要課題。食品廃棄物などの減量を進めるには、段ボールコンポストの普及をはじめ、生ごみ削減などの取組みを一層推進することが不可欠であり、今後の施策展開において最重要課題の一つと認識している。

普及にむけて、段ボールコンポストを体験してもらうためにモニター事業などを実施したい。白鳥中学校が発表した「完熟たい肥プロジェクト」を参考に、自治会等と連携した取り組みの検討を進める。



### 高齢者の一人住まいと火災について 感震ブレーカーの周知方法は

兼山消防長 感震ブレーカーは震度5強相当の地震を感じて電気を自動で遮断する機器。電気機器からの出火や停電が復旧した時に発生する火災を予防することが期待できる。周知のため、4月に感震ブレーカーの回覧チラシを配布する。



議員 敏夫 清水

### 行政目的を達成した施設を 却し次世代に残さない策は

安全面や環境面、跡地活  
用の検討を踏まえ進める



行政の役目を終えた公共施設は51施設あり、計画的に除却しないと次世代に多大の負担を強いられることになるが、市の除却方針は

加藤総務部長 51施設のうち、本年度から10年間の除却予定は31施設、現時点の除却数は3施設に留まり、残りの28施設を10年間で除却することとなり、膨大な数字となる。今後は、安全面や環境面、エリア再編計画・跡地利用の検討を踏まえて進めたい。

解体費用の財源は一般財源であるが、公共施設等総合管理計画に基づく場合は、公共施設等適正管理推進事業債の有効財源を活用し、除却を進める。

山川市長 公共施設等適正配置計画を計画通りに実行に移すには、サービス低下に繋がる懸念やこの施設は残してほしいとの意見などがあり、積極的に進められなかった。今後は議会と共に市民の理解を得て、行政として少しでも計画に沿った除却を行いたい。



旧明宝中央公民館  
(除却施設に該当)



**長良川鉄道活性化の取組みのエリアや具体策は**  
観光分野に注力した活性化策を打ち出す必要がある



**山川市長** 沿線市町の魅力を総動員して長良川鉄道を絡めたまちづくりを展開する。廃線の候補に挙げた郡上八幡駅以北も含めて取組んでいく。

**評価期限と目標水準は**

**市長** 3年程度は見守っていただきたい。年々増加する経営安定対策補助金や近代化整備事業費補助金などについて、いつまでも現在の水準で執行することは不可能である。営業損益と近代化整備事業費、安全運行経費の総計が底を打たないようでは、市内の一部区間の廃線もやむなしと考えている。



長良川鉄道HPより

**将来の方向性については**

**市長** 鉄道の運営に関しては首長の意向のみで定まらず、各市町の議会においてその執行に対する審議がある。市としては、郡上八幡駅以南の部分については高校生の通学利用のために残すべきと考える一方、以北にあつては路線バスが運行している。県が提案する「鉄道とまちづくりを一体化させた活性化対策」を目指すこととしたい。



**「ビルド&スクラップ」政策の判断基準は**  
「若者が希望を持てるか」「新規事業の基準」



**山川市長** 令和6年度29回、令和7年度12回のタウンミーティングを開催した。多くの課題が浮き彫りになり、「どう実現するか、資金をどうするか」常に模索してきた。全てを行政が行うのではなく、市民自らも地域を創る「住民自治」を形にし、郡上の未来のため取捨選択を行うっていく必要がある。

**これからの図書館運営のビジョンについて**

**熊田教育長** 図書館運営には、1分室当たり年間260万円から400万円程度必要である。閉室となるめいほう、わら分室については、公民館図書として残し、利用者にはホームページや電話で予約していただき受け取る体制としていく。

その他の分室についても、

今後市民協働による運営方法やアイデアを検討し地域や施設の実情に合った方法を検討し、地域の活性化に繋げたい。



みなみ分室学習コーナー



**市民協働センターの継続については**  
市民協働センター業務委託できるよう調整を行っている



**今後の郡上市民協働センター機能の継続をどのように考えているか**

**河合市長公室長** 市内の一般社団法人を想定している。新たな組織に令和8年度からの郡上市民協働センター運営業務を委託できるよう、調整を行っているところである。組織のスタッフ1名を集落支援員として委嘱して地域課題の把握や課題解決に向けた取組みを進める。



魅力ある地域づくり事業（シバザクラ植栽事業）

**無痛分娩に支援を**

**人口増加策として無痛分娩に支援制度を設けて**

**山川市長** 本来に人口減少対策にこの無痛分娩が資するものであるかどうか今後研究した上で、無痛分娩についてメリットがあることは分かっている。考えていかなければならないと思っている。



有井 弥生 議員

### 白山古道（美濃禪定道）整備の目的と活用

現地調査を実施後、事業展開につなげていきたい



山川市長 長滝から始まる白山への登拜道である美濃禪定道は、古の時代には多くの参詣者で賑わっていた。長滝から松峠、石徹白を経由して白山中居神社、石徹白大杉に至るルート（全長23.8km）は、当市が世界に誇る山岳信仰の古道といえる。こうした事業については、地元の皆様にも主体的に参加してもらうことで住民自治による地域作りが動き出すものと考えている。

なお、令和8年度に実施する現地調査は、歴史に精通した地元の方々との会議を開催し、聞き取りから始め、整備方針や事業展開につなげていきたい。



白山禅定道案内板（前谷）

### ふるさとワーキングホリデー制度について

#### 移住定住・関係人口戦略との連動は

河合市長公室長 ワーキングホリデーの参加者には、今後始まるふるさと住民制度へ登録してもらい、確実に関係人口として取り込み、二地域居住や移住を検討される場合には、明確な支援を行い、地域の活性化や人口増加につなげていく。



池田 郁夫 議員

### 長良川鉄道については

外部専門家に鉄道経営を相談し、できることをする



山川市長 市の状況を踏まえて、通学に必要な鉄道を維持するための最適解を沿線市町と一緒に検討する。今後は外部専門家に鉄道経営を相談し、できることをして、最終結論を出す。当面は継続するので、鉄道を基軸とした観光に取組む。**長良川鉄道と路線バスの連携・運行バスの実績調査は**

河合市長公室長 事業者も交えて、より良い公共交通を目指し、ダイヤ改正の影響について協議する。また、利用者の意見を聞き、利便性、運行経費を考慮し、その都度協議する。

### 公式ラインの活用について 導入の目的は

加藤総務部長 防災や行政情報の発信力強化を図りたい目的から、防災行政無線の課題を補完できるなど普段から地域防災力の強化につながり、市民一人ひとりの命を守ることにつながる。

#### バス路線再編後のイメージ

- ・鉄道の駅と駅間を結ぶ路線を短縮し、すべてがバスと連携する
- ・バス路線が重複しない、わかりやすくする
- ・バスシステムアプリで乗車履歴を記録し、乗車履歴に基づき乗車料金を算出する



鉄道とバスの連携イメージ図



和田 樹典 議員

### 市内観光協会の今後のあり方は

それぞれに活動するのではなく、効率的な運用を図ることも必要



粥川商工観光部長 これまでのように7地域の観光協会がそれぞれに活動するのではなく、ある程度はヒト・モノを集約し効率的な運用が必要と考えるが、合併することで各地域がこれまでと同様の支援を受けられるというものではない。

観光分野ではなく、商業分野での強みを持っている地域などにおいては、それぞれの得意分野を伸ばす政策を取っていくことも考えられる。**八幡町伝統的建築物群保存地区について**

**伝統的建造物群といった観光資源に商店街があれば人の流れができるが、商業活動は可能か**

長尾教育次長 重要伝統的建造物群保存地区という文化財の観点から、保存地区内での商業活動を規制する法令はないが、建物の外観を変更する場合は、文化財保護法に基づき事前の許可が必要となる。

また、奥を居住スペースとし、道路に面した部分で商売を営むなどの活用は今後、研究を進める。



無電柱化された伝建地区



野田かつひこ 議員

### 学校給食の現状と課題を問う

オーガニック化は地域共同の気運の高まりに期待する



**無償化に対する保護者、生徒、関係者の評価は**

**長尾教育次長** 保護者からは物価高の中、無償化は大変助かっているとの声を聞いている。また子どもたちは給食が大好きで、盛り上がっている。

量や質の低下への懸念もあるが、献立は文部科学省の栄養摂取基準に従い、栄養教諭が工夫しながら作成している。

**市民の共同でオーガニック給食による「郡上の大地と子どもをまもる日」の創設を**

**山川市長** オーガニック化は、食物アレルギーに歯止めをかけ、地域再生の起爆剤にもなり得るが、一般的には



給食費無償化が実現しました

まだ浸透しておらず、生産量も少なく給食の食材としての量を確保することは困難である。

地域共同でオーガニック農業の気運が高まりをみせていくことは重要な一歩になる。先進自治体の取組みを参考にしながら支援や仕組み作りを検討していきたい。



池田源則 議員

### 新規事業の農山村再活性化事業については

農村型地域運営組織（農村RMO）の設立とスタートアップを支援する



**農村RMOと農山村再活性化事業の関係は**

**田代農林水産部長** 令和8年度から始まる当事業は農村RMO設立のスタートアップを支援する事業である。構成員には、中山間地域等直接支払制度の集落協定・農業法人などの農業者のほか、非農業団体である自治会・地域づくり協議会などが参画することを条件としている。

地域の課題解決に積極的に取組む集落は応援していきたい。

**ジビエの有効利用について**

**学校給食にジビエを使用することについては**

**長尾教育次長** 地産地消、食文化、命の大切さを教えるためには大切なことだと考えるが、色々な条件を満たした上での取組みとなるため、今後、模索していきたい。

**山川市長** 以前、試食会でジビエを使ったシチューやソーセージを食べたが、大変美味しかった。栄養面でも優れているので、命の大切さを教えるためにも給食への導入を考えていきたい。



原喜与美 議員

### 人口減少による地域コミュニティの対策は

自治会活動は負担軽減のため、デジタル化による支援を行う



**人口減少がもたらす地域コミュニティ及び地域住民の連帯感の希薄化対策は**

**乾副市長** 現在、「団塊世代」の方々が深い郷土愛を持って地域を支えていることに感謝している。次なるリーダー候補は40〜50代で全ての方が多忙な状況にある方ばかりで、慣例の自治会活動を受け継ぐことは負担が大きいため、自治会活動に対してデジタル化を進める。情報共有の柱として新年度から「市公式LINE」の運用も始め、スマホで簡単に情報を得ることができるようになる。また、「集落支援員」制度の活用による自治会の支援を考えている。

地域の併合については、歴史や文化を尊重する観点から市が一方的に再編・併合を促すものではないと考える。防災や美化運動など自治会間で協力して活動してもらい「緩やかな」広域連携を進めながら自治会間で検討してもらおう。

コロナ禍で絶えている地域の交流の場の活動にも後押ししたい。





みずのまり 議員

白鳥振興プロジェクトと道の駅の課題を問う

運営体制の抜本的見直しが必要



山川市長 振興プロジェクトは中部縦貫自動車道と東海北陸自動車道の結節を見据えている。「白鳥」が西の玄関口となる大きな政策を作っていないといけない。

現在、市街地再生を視野に入れ、観光の軸を「見る」から「遊ぶ」へ転換し、地域の若手主体で住民自治型のまちづくりを進めている。

振興事務所にはこれまでの考え方を転換し、自ら考え地域を後押しする役割が求められる。

道の駅は高速開通に向けハード整備とともに運営の抜本的見直しが急務である。

指定管理者・株式会社しるとりには高い運営・企画能力と民間専門ノウハウの活用が求められる、稼ぐ力の一層の向上が不可欠である。



白鳥振興プロジェクトのイメージ図

クイズの答え《第87号出題》

ご応募いただきありがとうございました。応募総数は188件でした。いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。

正解は 問1 ② クマ 問2 ① 美並小学校  
問3 ③ 長良川鉄道の駅

抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。なお、ご応募いただいた方の個人情報は、目的以外には一切使用いたしません。

皆さんからの声

クイズにご応募いただいた方からのご意見・感想の中から、一部を要約して紹介します。

●郡上市で何が起きているのかなどの町の話題が載っていて、市の事がもっと知ることができて良いと思いました。議会で何を話しているかを書いてあってこういう所も良いなと思いました。  
八幡 11歳

●去年から議会だよりがフレンドリーになりました。読みやすく、しかも内容は市民に密接する話題ばかりで、次号が楽しみです。  
議員さん日々の頑張りが重点に書いて行政テーマも分かり、次の選挙の選挙人選選びにも役立ちます。  
明宝 49歳

●去年は熊の出没が全国的にも取り上げられていましたが、市議会でも話し合ってくださいっていることがわかりました。命懸けで害獣の捕獲に携わってくださいっている猟師さんにも感謝です。  
大和 26歳

●美並町に住んでいます。小学校が統合され新しい校舎が建つことは嬉しいですね。でもその一方で毎

月の「戸籍のまど」をみて新生児がとてもないことに寂しく思います。山川市長さんには、より一層少子化対策に力を入れていただき、子育てしやすい郡上、Uターンしてくれる郡上にして欲しいです。  
美並 64歳

●いつもは何気なく議会だよりを読んでいます。87号はいつも以上に読んで初めから最後まで読ませて頂き、提案、見直し事業、課題、読んでわからなかった事、疑問に思っていた事など、少しは理解できて、読み応えがあつて、これからの市に対しての理解ができたのでありがたかったです。これからも議員さんには頑張ってくださいと思います。  
八幡 75歳

●予算見直し事業の検証興味深く拝見しました。変わりゆく時代の流れの中で見直しは大事な事業です。迅速な対応に期待します。  
白鳥 57歳

●市議PR動画を議員の方達でやられると知り、ビックリすると共にオンエアを楽しみにしています。  
高鷲 59歳



# 令和7年度 議会傍聴者アンケート集計結果

## ご協力いただきありがとうございました



郡上市議会では、各定例会において傍聴者アンケートを実施しています。

下記の通り、いただいた貴重なご意見の一部をご紹介します。

いただいたご意見につきましては、今後の議会活動の参考にさせていただきます。

回収期間	6月定例会、9月定例会、12月定例会、1月臨時会、3月定例会
回収対象者	議場での本会議の傍聴者
実施方法	傍聴席入口にアンケート用紙を設置し、任意で回収箱に提出
回収数	29部（延べ傍聴人数106人のうち回収率は27%） ※小数点以下切り捨て

### 《《《 皆さんからいただいたご意見（一部要約） 》》》

CATV、動画配信サービスなどで議会と委員会のライブ中継をしてください。

同じ方向にベクトルが向くよう、行政、市議会が一体となって頑張ってください。積極的な意見があり、見ごたえがありました。また傍聴したいです。

仕事は休みでも家族のケアのため、議場にいられないというときにライブ中継があれば、傍聴ができます。



どなたでも傍聴できますので  
お気軽にお越しください

“ 団体での傍聴をご希望の際は事前に議会議務局までお知らせください ”

“ アンケート調査の結果を踏まえ、議案資料の貸出を始めました。 ”



▲他のご意見はこちらから

傍聴の際はこちらのスペースから  
ご覧いただけます

### 議長の動向



全国過疎地域連盟理事会の様子

森藤文男議長は、左記の会議に出席し、議案の審議および協議の他、各種報告を受けました。

**岐阜県市議会議長会議**

日程 令和8年1月28日  
内容 要望書や予算の議案審議および会務報告等

**全国過疎地域連盟理事会**

日程 令和8年2月16日  
内容 令和8年度の事業企画や予算の審議および職務の執行状況の確認等

# ～2年間の活動を振り返って～

先進地への視察や広報活動の議論を通して様々な変化が起こったこの2年間  
広報広聴特別委員の今の想いを聞いてみました！

## R7 5.1 議会だより リニューアル



新しい取り組みにも挑戦し、市民の皆さんからたくさんの「声」をいただき、まさに充実の2年間でした。



野田かつひこ委員長

「議会だよりのリニューアル」そして「皆さんからの声のQRコード導入」が広報の一助となった事が嬉しい！



本田教治副委員長

この2年間で改革が実施され、大きな成果があり、市民の方からも評価を受けました。委員の皆さんには感謝いたします。



森藤文男議長

新しい仲間と過ごし  
挑戦できた2年間に感謝します。  
私の魔法の言葉は  
「ありがとう」です。



田代まさよ委員

多くのみなさんが議会だよりに  
関心を持って見て頂いている事に  
驚きと共にうれしく思いました。  
2年間、作成に関わらせて頂き、  
ありがとうございました。



山田智志委員

議会だよりが少しずつ変わっていく  
過程で、変化には「納得できる時間」と  
「丁寧な対話」が不可欠だと学びました。  
小さな一歩の積み重ねが、議会と  
市民をつなぐ力になると信じています。



みずのまり委員

2年間議会だよりに  
携わらせて頂きました。  
市民のみなさんが議会に対して  
関心を持って頂いている事を  
ありがたく思い感謝いたします。



和田樹典委員

## R7 10.8 議会報告会をフリートーク形式で開催 (議員としゃべろう)



2年で委員会が進化し、  
こども議場見学会など新たな  
取組に挑戦。意見やアイデアも  
取り入れられ、関心の高まりと  
やりがいを実感しました。



有井弥生委員

2年間、議会を身近に  
感じられるよう、事務局と一緒に  
リニューアルを進め実現できた  
ことが本当に良かったです。



北山浩樹委員

\\ 今後の郡上市議会にも是非ご注目ください! //

# クイズに答えて

QUESTION & ANSWER

## 「郡上市共通商品券」を「ゲット」しましょう!

正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市商品券をプレゼントします。

**Q1** 現在の議員定数「18人」から「15人」へと条例改正を可決しましたが、調査研究を行ってきたのは何委員会?

- ① 広報広聴特別委員会      ② 議会改革特別委員会  
③ 予算特別委員会

**Q2** 令和7年度 一般質問など定例会にみえた傍聴者の延べ人数は?

- ① 36人      ② 56人      ③ 106人

**Q3** 副市長の定数が2人から1人に削減されるのはいつから?

- ① 令和8年4月1日      ② 令和9年4月1日  
③ 令和10年4月1日

ヒントはこの議会だよりの中にありますので、よく読んで探してください!

### 応募方法

- ① クイズの答え
- ① 郵便番号
- ① 住所(番地まで)
- ① 氏名
- ① 年齢



上記の項目をご記入いただき、はがき、ファックス、二次元コードのいずれかからご応募ください。

### あて先

〒501-4297  
郡上市八幡町島谷228番地  
郡上市議会 議会事務局 FAX67-1821

**締切: 令和8年5月22日(金)**

※当日消印有効

※当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。  
※いただいた個人情報は目的以外に使用しません。

ご応募に合わせて皆さんの声もぜひお寄せください。

お寄せいただいたご意見の一部について内容を要約し、無記名で次号に掲載させていただきます。

### 編集後記

この2年間、本委員会では「議会だより」の色調やレイアウトなどを一新し、より身近で手に取っていただきやすい「議会だより」を目指してきました。その結果、「読みやすくなった」「楽しみにしている」という声と同時に、クイズの応募者は小学生世代にまで広がりその数も飛躍的に増えました。励ましやご意見を寄せてくださいました市民の皆さんに心より感謝申し上げます。

また今年度からは、議会開催に先立って「定例会PR動画」の放映や「夏休み子ども議場見学会」の開催、あるいは新しいスタイルの「議員としゃべろう」など、新たな取り組みにも挑戦してきました。新年度からはさらに磨きをかけて、一層開かれた議会に向けて努力してまいります。

野田かつひこ

- 委員長 野田かつひこ  
○ 副委員長 本田 教治  
○ 委員 田代まさよ  
山田 智志  
みずのまり  
和田 樹典  
有井 弥生  
北山 浩樹

### 広報広聴特別委員会

### 6月定例会の予定

月 日	曜日	会議の内容
6月4日	木	議会運営委員会・全員協議会
6月5日	金	総務常任委員会協議会
6月8日	月	産業建設常任委員会協議会
6月9日	火	文教民生常任委員会協議会
6月11日	木	開会
6月15日	月	予算特別委員会・本会議
6月17日	水	一般質問
6月18日	木	
6月19日	金	
6月22日	月	総務常任委員会
6月23日	火	産業建設常任委員会
6月24日	水	文教民生常任委員会
6月29日	月	議会運営委員会
6月30日	火	閉会・全員協議会

※開会時間は原則9時30分です。  
日程・時間は変更になる場合があります。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

第88号 郡上市議会だより 20